

公開研究会

福祉転用 京都会議

－ 福祉転用が切り開く新たなデザインと価値創造 －

地域の人口構造や産業の変化等に伴う、空き家・空きビルの増加が問題となっている。一方で、高齢者や子ども、障害や病気をもつ方を支える拠点は、支援と地域との融合がより求められる昨今、その場所を地域に移していっている。こうした背景のなかで既存建物を福祉用途に転用して利用する事例が増えている。福祉施設計画小委員会では、こうした“福祉転用”の計画例や、多面的な側面からみたその意義、法規的な検討課題など、多様な視点からの研究を行ってきた。「福祉転用京都会議」では、これまでの委員会での研究成果を各視点から報告し、福祉転用の現状とニーズ、福祉転用がつくる地域の文化と福祉、福祉転用がつくるまちの居場所、地域資源の利活用、福祉転用に向けた計画技術と人材育成、福祉転用に関わる既存制度の解釈と段階的訴求、制度基準・安全基準、福祉転用に向けた仕組み、についての話題提供をもとに、議論を行う。さらに、委員会メンバー以外からも報告者を募って、福祉転用の多様な建築事例や取り組みの例、また福祉転用の実践と拡大に向けた課題などを討論する。

なお、演題は公募により、演題の整理は各座長が主導し委員会にて決定する。

主催：建築計画委員会 施設計画運営委員会 福祉施設小委員会

日時：2016年12月3日（土）10:00～17:30，12月4日（日）13:00～16:00

会場：(株)学芸出版ビル3階 ホール

(京都市下京区木津屋橋通西洞院東入)

<プログラム（予定）>

【12月3日（土）】

10:00～12:00 事例見学（京都市内，京町家を改修した小規模多機能型居宅介護事業所「松原のぞみの郷」・京都府住宅供給公社による「堀川団地」の改修事例，他調整中。事例発表会・シンポジウムにお申し込みいただいた方にご案内差し上げます）

13:00～17:30 事例発表会「福祉転用のデザインと進め方（デザイン事例と事業モデルとプロセス）」

- (1) 主旨説明：趣旨説明「福祉転用計画システム構築に向けて（社会変化と福祉転用の事業モデル）」（森一彦：大阪市立大学）
- (2) 事例発表会「福祉転用のデザインと進め方（デザイン事例と事業モデル，プロセス）」
 - ・ セッション1：子ども施設・3事例程度（座長：山田あすか，東京電機大学）
 - ・ セッション2：高齢者施設・3事例程度（座長：加藤悠介，金城学院大学）
 - ・ セッション3：障がい者施設・3事例程度（座長：松田雄二，東京大学）
 - ・ セッション4：複合型・3事例程度（座長：松原茂樹，大阪大学）
- (3) 各セッションの話題整理（山田，加藤，松田，松原）
- (4) ディスカッション，まとめ（加藤）

【12月4日（日）】

13:00～16:00 公開シンポジウム（コーディネーター：厳爽，宮城学院女子大学）

- ・福祉転用の現状とニーズ（山田）：アンケート調査より
- ・福祉転用がつくる地域の文化と福祉（橋弘志，実践女子大学・鈴木義弘，大分大学）：別府，地域福祉ほか
- ・福祉転用がつくるまちの居場所（鈴木毅，近畿大学）：小松・三草二木西圓寺，地域資源の利活用ほか
- ・福祉転用に向けた計画技術と人材育成（三浦研，京都大学）：コーシャハイム千歳烏山ほか
- ・福祉転用に関わる既存制度の解釈と段階的訴求（吉村英祐，大阪工業大学・北後明彦，神戸大学）：泉北，制度基準・安全基準ほか
- ・福祉転用に向けた仕組み（大原一興，横浜国立大学）：鎌倉，福祉転用プラットフォームほか
- ・ディスカッション
- ・まとめ（加藤，森）

司会：山田あすか（東京電機大学）

参加費：会員 1,000 円，会員外 2,000 円，学生 500 円（資料代別途／参加日数によらず同一金額）

資料代：2,000 円（参加費とともに，当日会場払い）

定員：研究会 各日 50 名（申込み先着順。11 月 26 日（土）までにお申し込みください）

見学会 先方施設の指定により 5～10 名程度（申込み先着順）

申込方法：催し物名称，氏名・勤務先・所属・住所・同電話番号・参加希望日・見学会参加希望の有無，を明記し，下記までお申し込みください。会期中，京都市内では宿泊施設の確保が非常に困難となっておりますので，ご注意ください。

（見学会への参加を希望される方は，不測の事態に備え，当日に連絡がつく電話番号の記載にご協力をお願いいたします）

申込・問合せ：山田あすか（東京電機大学） E-mail: fukushitenyo.kyoto@gmail.com

事例発表会投稿方法：

- ・ 10 月 10 日（月）18 時までに，**発表希望**を上記申込・問い合わせ先宛，お知らせください。その際，事例名称（または論考タイトル）・事例の所在地・筆者との関わり（運営者／設計者／研究者／他）・事例の概要（転用前後の用途，構造，特徴，他），をお書きください。
- ・ 投稿数・内容に応じて，【資料への掲載＋当日口頭発表】【資料への掲載のみ】を委員会にて審議し，10 月 14 日（金）頃までに連絡を差上げます。その後，**11 月 3 日（木）18 時までに，原稿を pdf 形式にてお送りください。**
- ・ 下記 URL より投稿フォーマットをダウンロードして原稿を作成してください。
<https://drive.google.com/file/d/0B8GMwkc-aGlyV2xrYTQ1MDJhT00/view?usp=sharing>
- ・ 原稿分量は原則 2 頁とし，頁数の超過が必要な場合は，4 頁で原稿を作成してください。

なお，「福祉転用」の研究プロジェクトについての詳しい内容は，以下のホームページをご覧ください。

「地域資源の利活用マネジメントにむけた福祉転用計画システムの構築」，<http://fukushitenyo.exp.jp>